

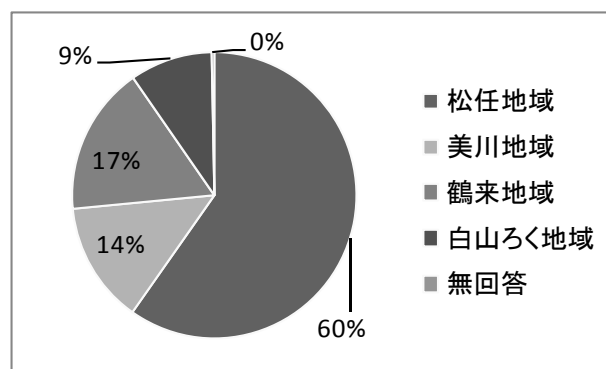
地産地消アンケート調査（消費者用）集計概要

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 1. アンケート実施時期 | 平成21年8月1日～8月31日 |
| 2. 調査対象者 | 20歳以上の市内在住者 2,000名（無作為抽出） |
| 3. 調査方法 | アンケート調査用紙（郵送）による回答方式 |
| 4. 回答者数及び回収率 | 1,018名（50.9%） |
| 5. 調査結果の概要 | 下記のとおり |

（※ 複数回答項目については、回答者数に対する割合で示す）

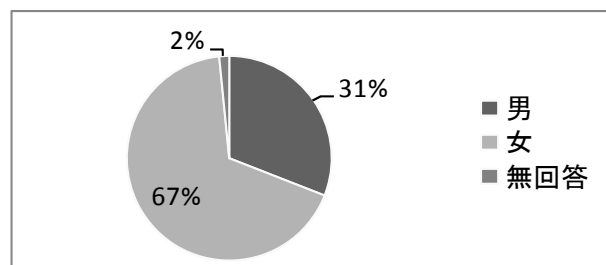
Q1：お住まいの地域

選択肢	回答者数	割合
松任地域	608	60%
美川地域	140	14%
鶴来地域	172	17%
白山ろく地域	95	9%
無回答	3	0%
合計	1,018	100%



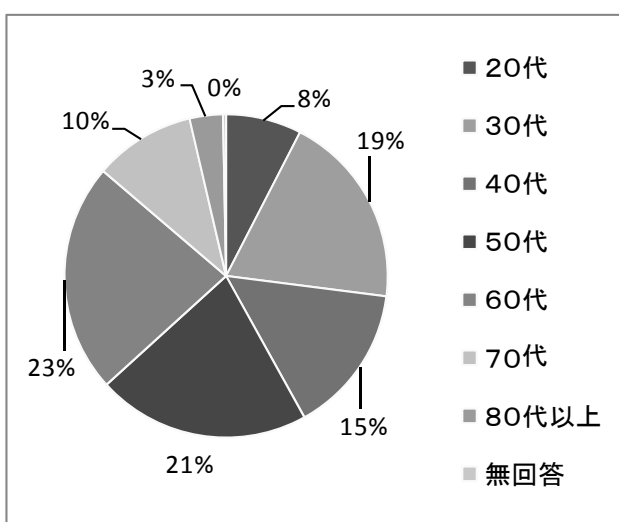
Q2：性別

選択肢	回答者数	割合
男	315	31%
女	687	67%
無回答	16	2%
合計	1,018	100%



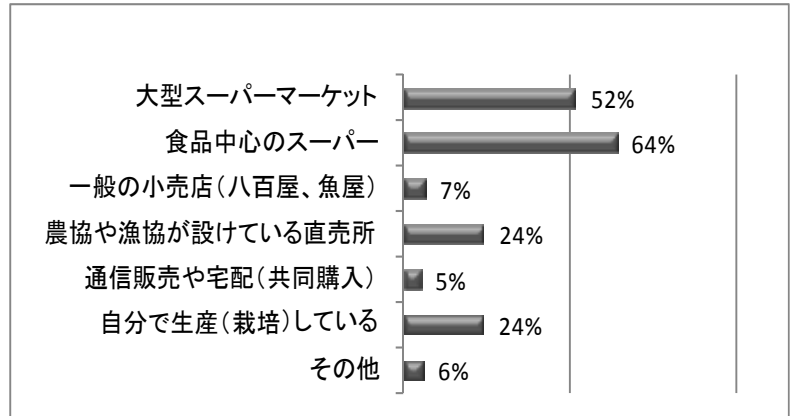
Q3：年代

選択肢	回答者数	割合
20代	77	8%
30代	198	19%
40代	152	15%
50代	217	21%
60代	234	23%
70代	103	10%
80代以上	34	3%
無回答	3	0%
合計	1,018	100%



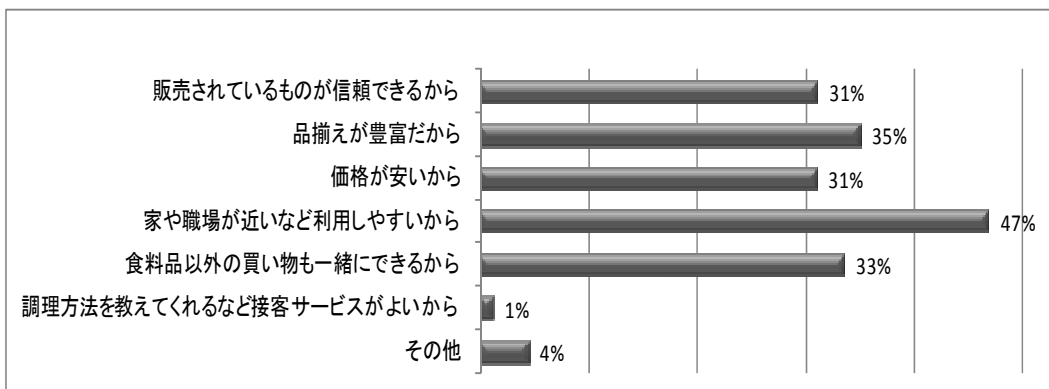
Q 4 : 普段、野菜などの農林水産物は、どこで入手することが多いですか。【複数回答】

選択肢	割合
大型スーパーマーケット	52%
食品中心のスーパー	64%
一般の小売店(八百屋、魚屋)	7%
農協や漁協が設けている直売所	24%
通信販売や宅配(共同購入)	5%
自分で生産(栽培)している	24%
その他(知人、親戚から貰う等)	6%



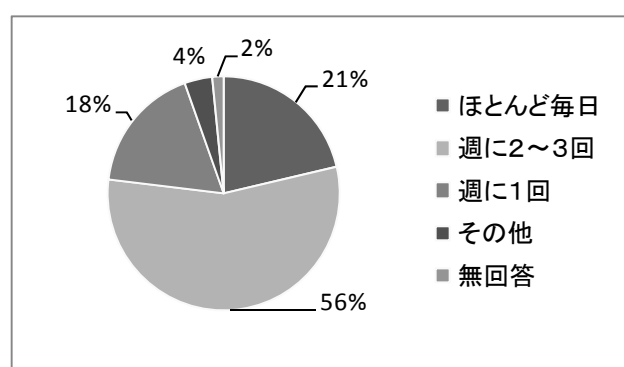
Q 5 : 上記で農林水産物を入手されている理由は何ですか。【複数回答】

選択肢	割合
販売されているものが信頼できるから	31%
品揃えが豊富だから	35%
価格が安いから	31%
家や職場が近いなど利用しやすいから	47%
食料品以外の買い物も一緒にできるから	33%
調理方法を教えてくれるなど接客サービスがよいから	1%
その他(美味しいから、安心だから等)	4%



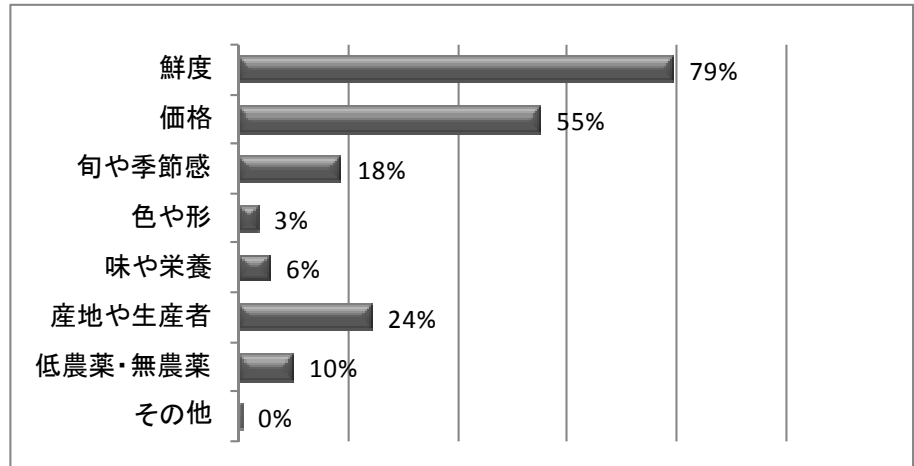
Q 6 : 野菜などの農林水産物を購入する頻度はどれくらいですか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
ほとんど毎日	217	21%
週に2~3回	566	56%
週に1回	180	18%
その他	39	4%
無回答	16	2%
合計	1,018	100%



Q7：購入する農林水産物について、どのようなことに注意して選んでいますか。【複数回答】

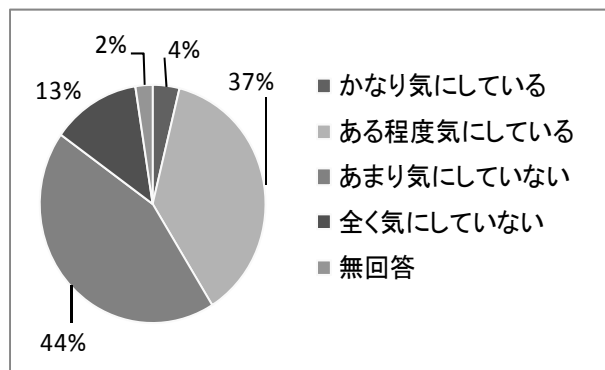
選択肢	割合
鮮度	79%
価格	55%
旬や季節感	18%
色や形	3%
味や栄養	6%
産地や生産者	24%
低農薬・無農薬	10%
その他	0%



Q8：購入する農林水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。【単一回答】

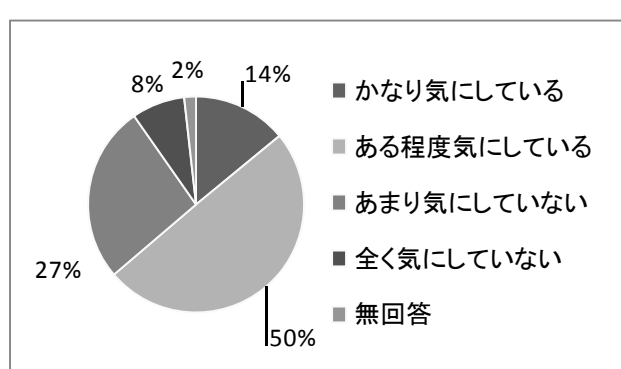
(1) ブランドとして有名な産地のものであること。

選択肢	回答者数	割合
かなり気にしている	39	4%
ある程度気にしている	380	37%
あまり気にしていない	445	44%
全く気にしていない	129	13%
無回答	25	2%
合計	1,018	100%



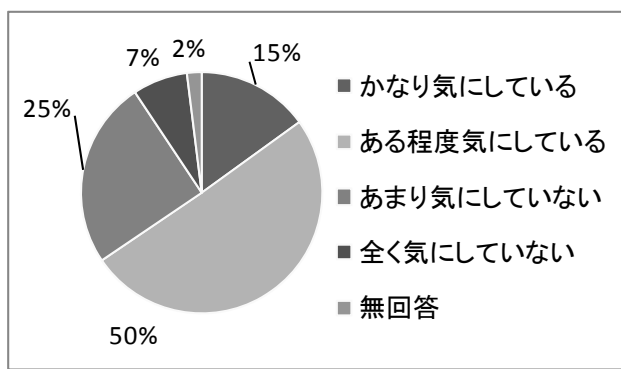
(2) 白山市産もしくは近隣の市町のものであること。

選択肢	回答者数	割合
かなり気にしている	143	14%
ある程度気にしている	506	50%
あまり気にしていない	270	27%
全く気にしていない	81	8%
無回答	18	2%
合計	1,018	100%



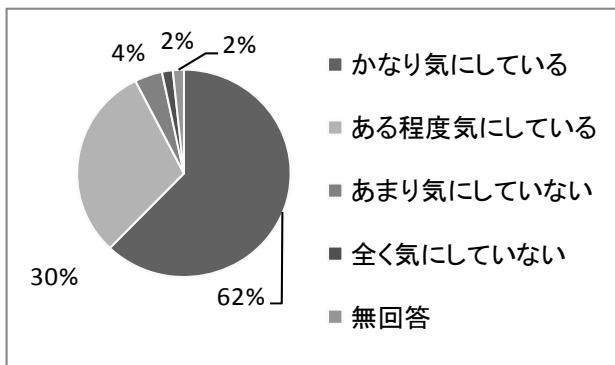
(3) 県内産のものであること。

選択肢	回答者数	割合
かなり気にしている	153	15%
ある程度気にしている	514	50%
あまり気にしていない	256	25%
全く気にしていない	75	7%
無回答	20	2%
合計	1,018	100%



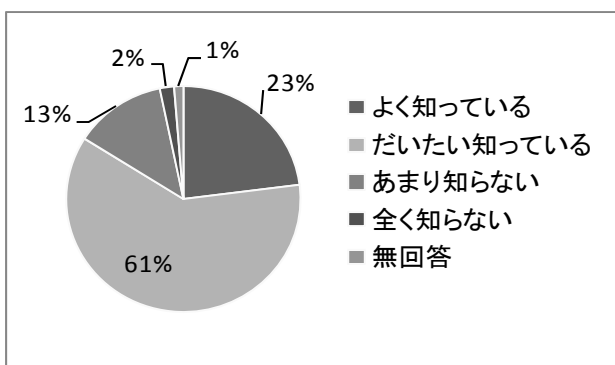
(4) 外国産でなく国内産のものであること。

選択肢	回答者数	割合
かなり気にしている	634	62%
ある程度気にしている	307	30%
あまり気にしていない	43	4%
全く気にしていない	17	2%
無回答	17	2%
合計	1,018	100%



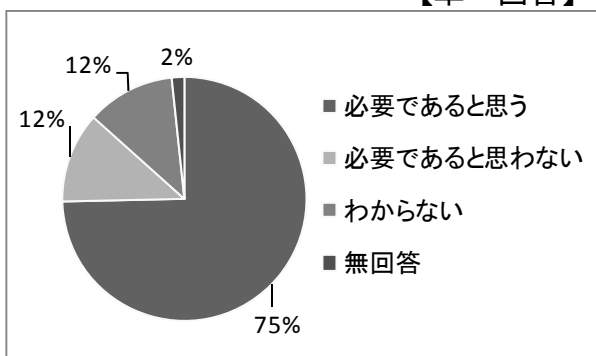
Q 9 : 白山市内で生産されている農林水産物の旬の時期をご存じですか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
よく知っている	234	23%
だいたい知っている	621	61%
あまり知らない	130	13%
全く知らない	20	2%
無回答	13	1%
合計	1,018	100%



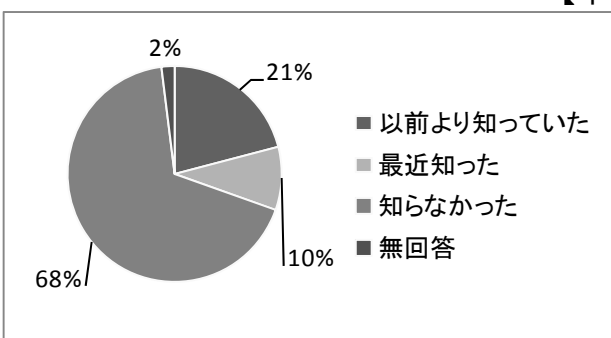
Q 10 : 市内で生産される農林水産物に「白山市産」と一目で分かる表示が必要だと思いますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
必要であると思う	760	75%
必要であると思わない	122	12%
わからない	119	12%
無回答	17	2%
合計	1,018	100%



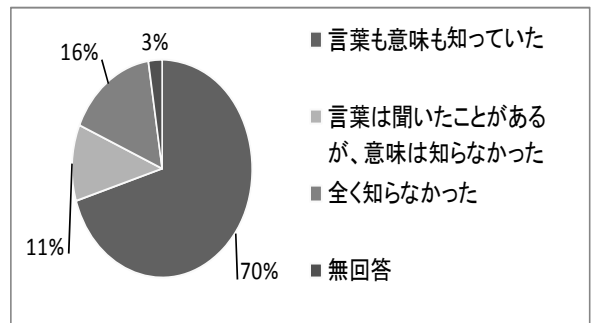
Q 11 : 市内小中学校の主食米に「地元産コシヒカリ 1等米」を使用していることを知っていますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
以前より知っていた	213	21%
最近知った	97	10%
知らなかった	688	68%
無回答	20	2%
合計	1,018	100%



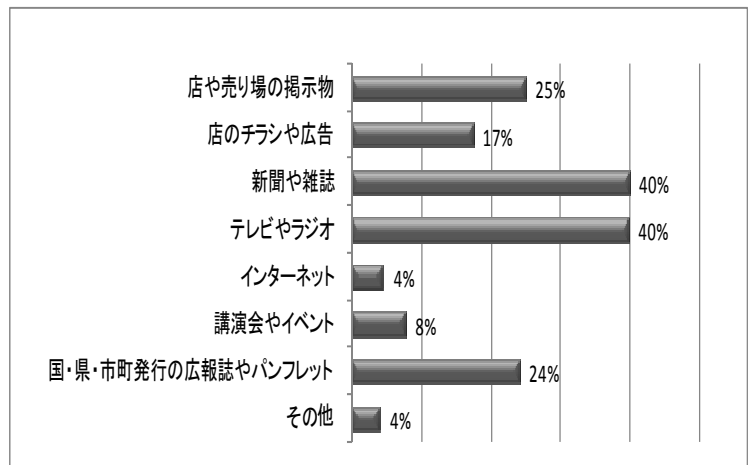
Q 1 2 : 「地産地消」についてご存じですか。(単一回答)

選択肢	回答者数	割合
言葉も意味も知っていた	714	70%
言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった	115	11%
全く知らなかった	163	16%
無回答	26	2%
合計	1,018	100%



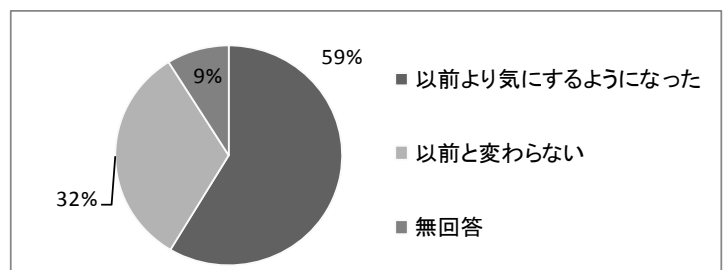
Q 1 2 - 2 : 「地産地消」について何からお知りになりましたか。【複数回答】

選択肢	割合
店や売り場の掲示物	25%
店のチラシや広告	17%
新聞や雑誌	40%
テレビやラジオ	40%
インターネット	4%
講演会やイベント	8%
国・県・市町発行の広報誌やパンフレット	24%
その他(学校便り、家族から聞いて 等)	4%



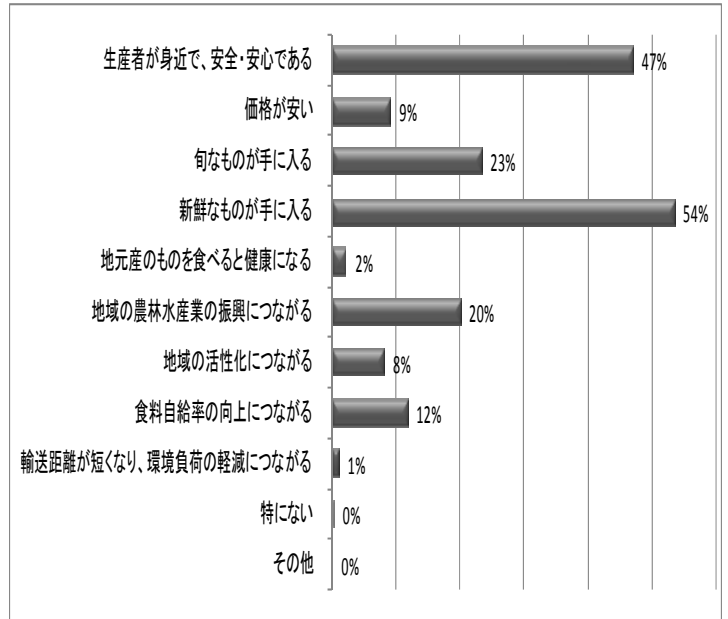
Q 1 3 : 「地産地消」の言葉の意味を知ってから、地元産の農林水産物を意識するようになりましたか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
以前より気にするようになった	597	59%
以前と変わらない	330	32%
無回答	91	9%
合計	1,018	100%



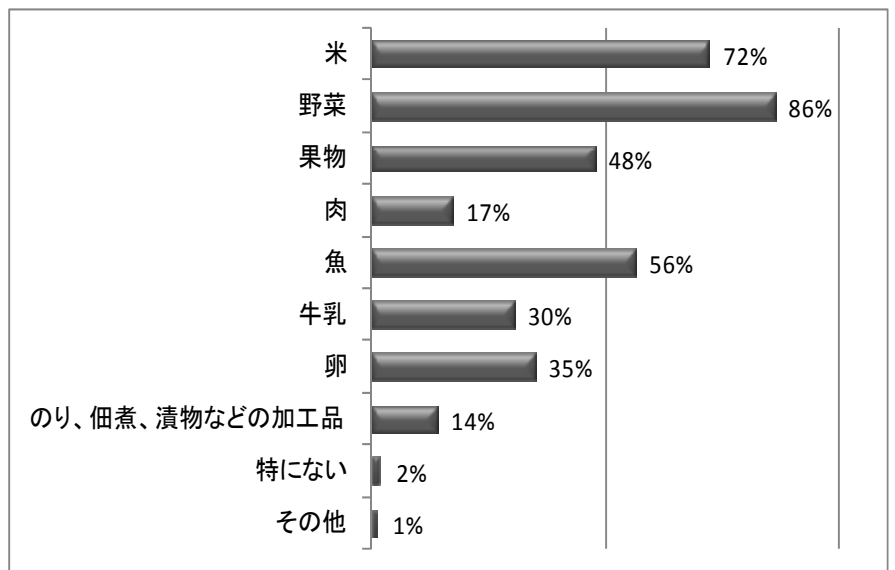
Q14：「地産地消」のメリットとして、あなたの印象や実感に近いものはどれですか。【複数回答】

選択肢	割合
生産者が身近で、安全・安心である	47%
価格が安い	9%
旬なものが手に入る	23%
新鮮なものが手に入る	54%
地元産のものを食べると健康になる	2%
地域の農林水産業の振興につながる	20%
地域の活性化につながる	8%
食料自給率の向上につながる	12%
輸送距離が短くなり、環境負荷の軽減につながる	1%
特にない	0%
その他	0%



Q15：これまで地元産を購入していたもの、今後購入したいものは何ですか。【複数回答】

選択肢	割合
米	72%
野菜	86%
果物	48%
肉	17%
魚	56%
牛乳	30%
卵	35%
のり、佃煮、漬物などの加工品	14%
特にない	2%
その他	1%

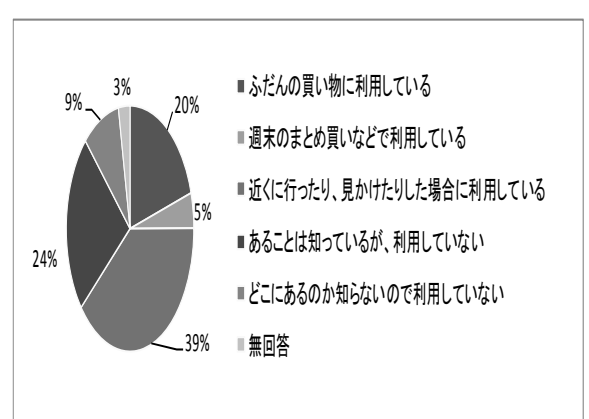


Q16：市内の農林水産物直売所やインショップをどの程度利用されたことがありますか。

【単一回答】

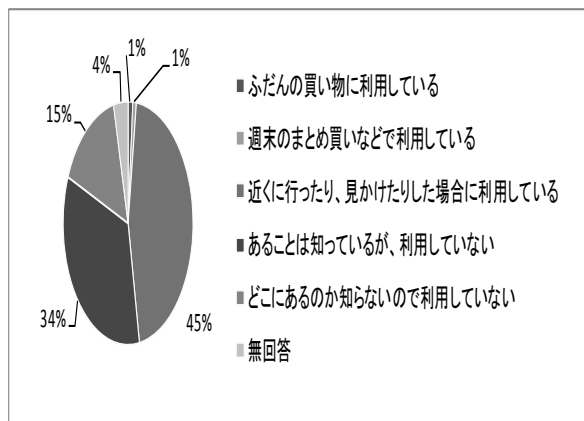
(1) 農協や漁協などが設けた直売所（朝市）

選択肢	回答者数	割合
ふだんの買い物に利用している	207	20%
週末のまとめ買いなどで利用している	47	5%
近くに行ったり、見かけた時に利用している	397	39%
あることは知っているが、利用していない	241	24%
どこにあるのか知らないで利用していない	96	9%
無回答	30	3%
合計	1,018	100%



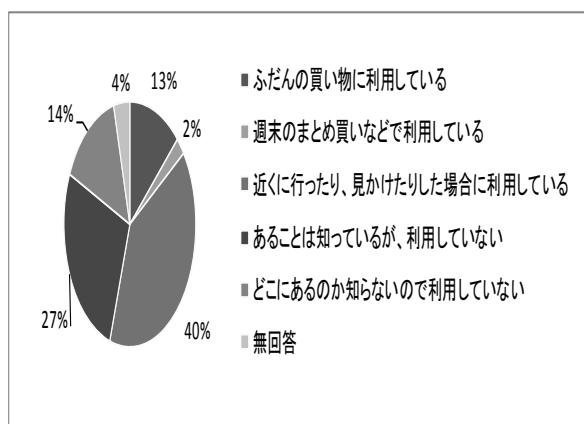
(2) 道の駅などに設けた直売所

選択肢	回答者数	割合
ふだんの買い物に利用している	12	1%
週末のまとめ買いなどで利用している	9	1%
近くに行ったり、見かけた時に利用している	459	45%
あることは知っているが、利用していない	346	34%
どこにあるのか知らないで利用していない	155	15%
無回答	37	4%
合計	1,018	100%



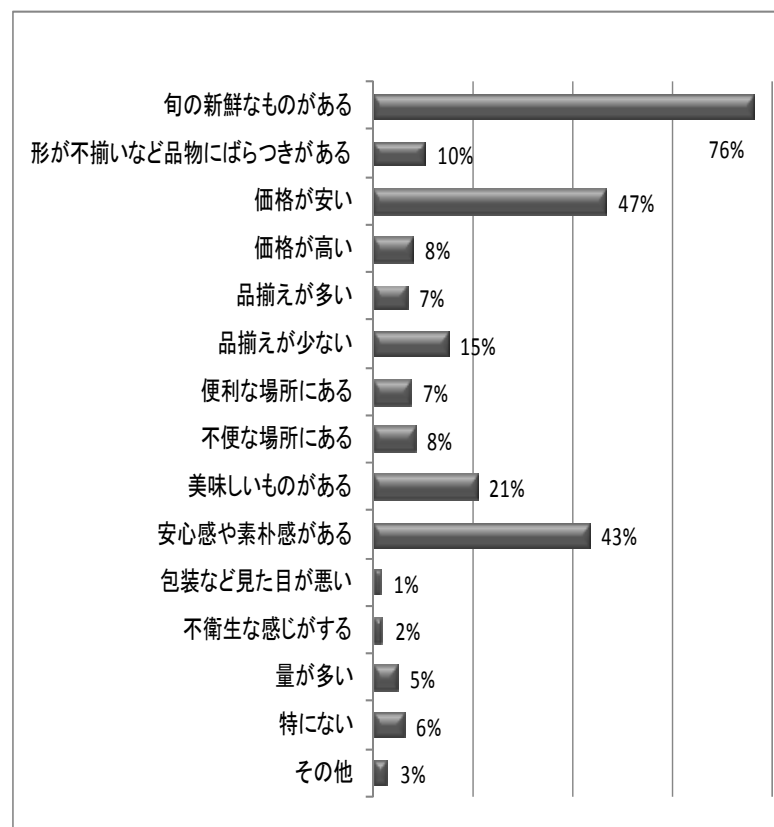
(3) 商店街等で行われる朝市や量販店内のインショップ

選択肢	回答者数	割合
ふだんの買い物に利用している	130	13%
週末のまとめ買いなどで利用している	24	2%
近くに行ったり、見かけた時に利用している	405	40%
あることは知っているが、利用していない	273	27%
どこにあるのか知らないで利用していない	146	14%
無回答	40	4%
合計	1,018	100%



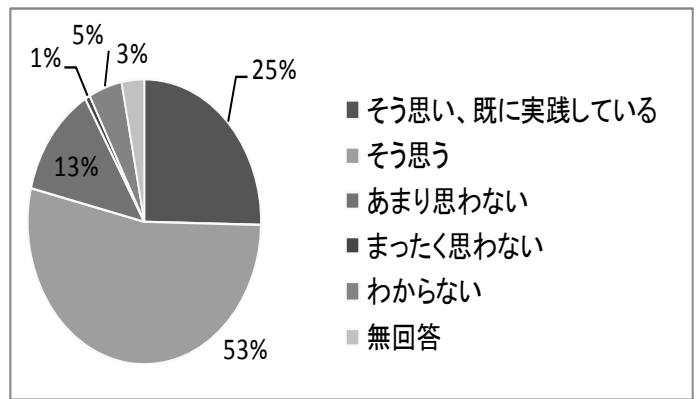
Q 17 : 直売所やインショップに対する印象や利用実感はどのようなものですか。【複数回答】

選択肢	割合
旬の新鮮なものがある	76%
形が不揃いなど品物にばらつきがある	10%
価格が安い	47%
価格が高い	8%
品揃えが多い	7%
品揃えが少ない	15%
便利な場所にある	7%
不便な場所にある	8%
美味しいものがある	21%
安心感や素朴感がある	43%
包装など見た目が悪い	1%
不衛生な感じがする	2%
量が多い	5%
特にない	6%
その他(営業時間が短い 等)	3%



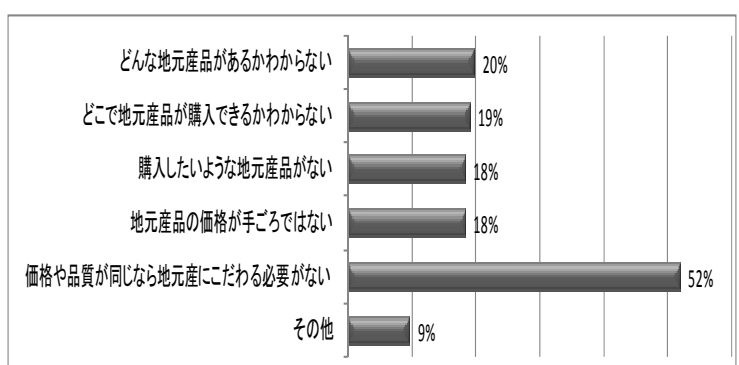
Q18：地元産品を購入して「地産地消」を実践しようと思いませんか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
そう思い、既に実践している	258	25%
そう思う	544	53%
あまり思わない	130	13%
まったく思わない	7	1%
わからない	47	5%
無回答	32	3%
合計	1,018	100%



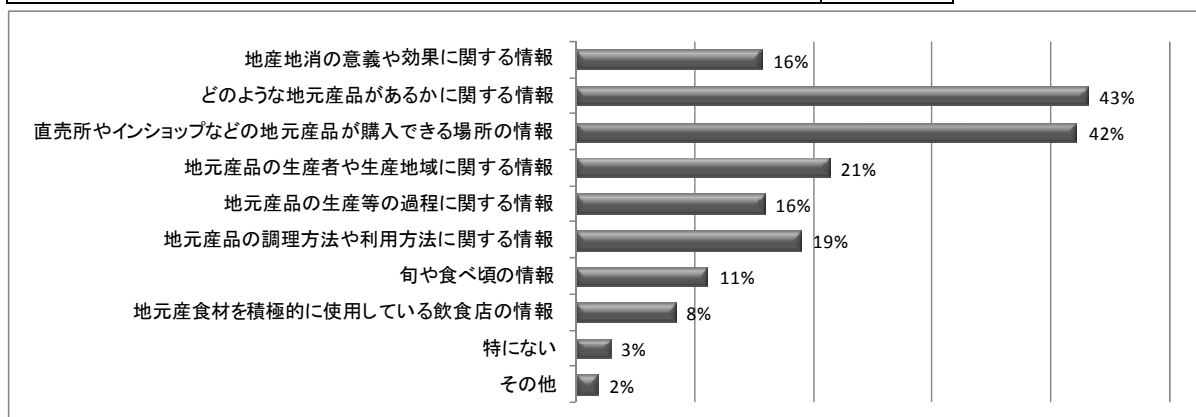
Q18-2：「地産地消」を実践しようと思わない理由はどのようなことですか。【複数回答】

選択肢	割合
どんな地元産品があるかわからない	20%
どこで地元産品が購入できるかわからない	19%
購入したいような地元産品がない	18%
地元産品の価格が手ごろではない	18%
価格や品質が同じなら地元産にこだわる必要がない	52%
その他(本当に安全なのか不安等)	9%



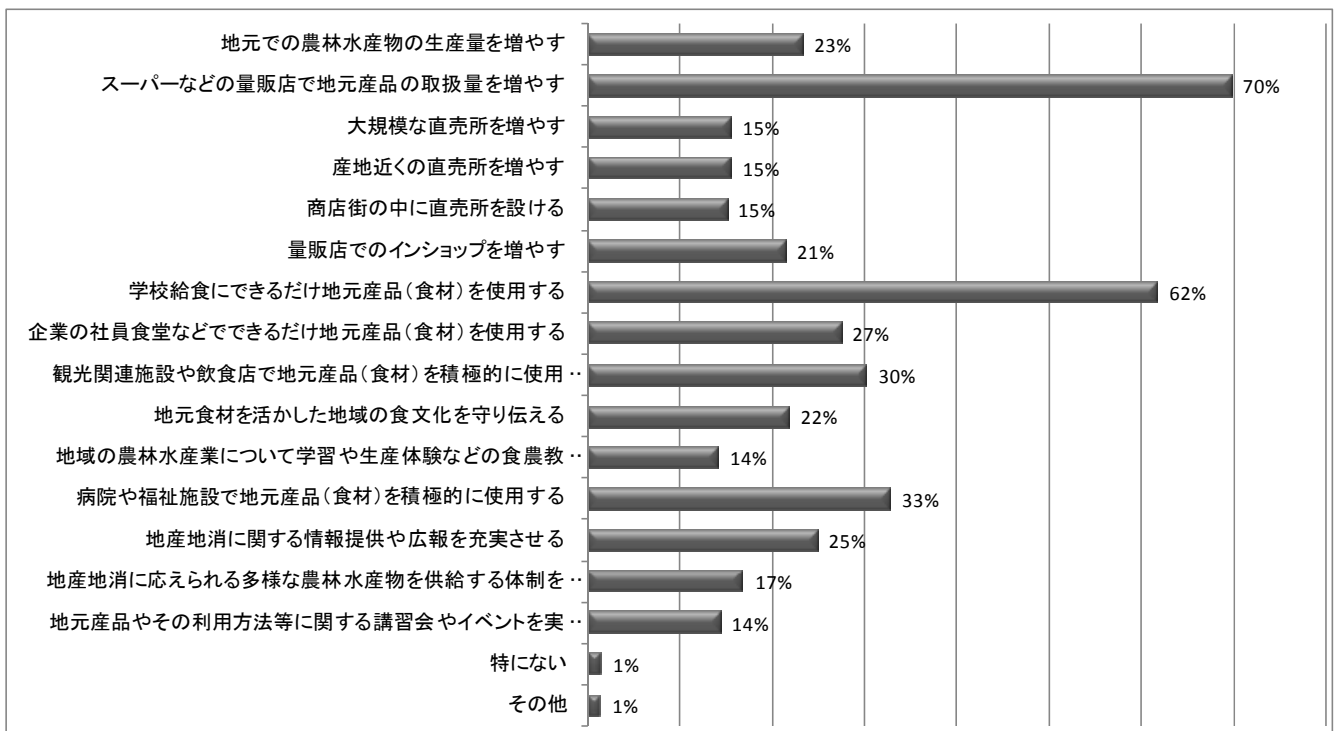
Q19：どのような情報があれば「地産地消」に取り組みやすくなりますか。【複数回答】

選択肢	割合
地産地消の意義や効果に関する情報	16%
どのような地元産品があるかに関する情報	43%
直売所やインショップなどの地元産品が購入できる場所の情報	42%
地元産品の生産者や生産地域に関する情報	21%
地元産品の生産等の過程に関する情報	16%
地元産品の調理方法や利用方法に関する情報	19%
旬や食べ頃の情報	11%
地元産食材を積極的に使用している飲食店の情報	8%
特になし	3%
その他(コンビニでの提供情報、販路の確立等)	2%



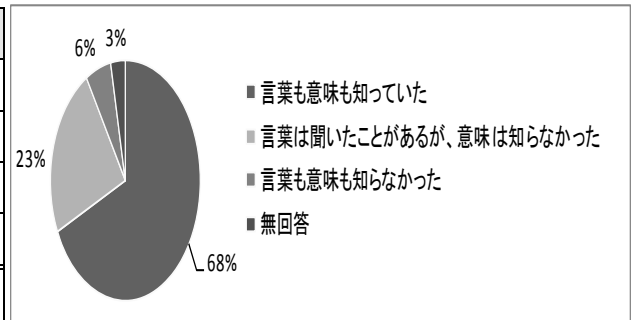
Q20：「地産地消」をより進めるためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。
【複数回答】

選択肢	割合
地元での農林水産物の生産量を増やす	23%
スーパーなどの量販店で地元産品の取扱量を増やす	70%
大規模な直売所を増やす	15%
産地近くの直売所を増やす	15%
商店街の中に直売所を設ける	15%
量販店でのインショップを増やす	21%
学校給食にできるだけ地元産品(食材)を使用する	62%
企業の社員食堂などでできるだけ地元産品(食材)を使用する	27%
観光関連施設や飲食店で地元産品(食材)を積極的に使用する	30%
地元食材を活かした地域の食文化を守り伝える	22%
地域の農林水産業について学習や生産体験などの食農教育を推進する	14%
病院や福祉施設で地元産品(食材)を積極的に使用する	33%
地産地消に関する情報提供や広報を充実させる	25%
地産地消に応えられる多様な農林水産物を供給する体制を整える	17%
地元産品やその利用方法等に関する講習会やイベントを実施する	14%
特にない	1%
その他(生産者をもっと後押しする、生産者との交流会の実施 等)	1%



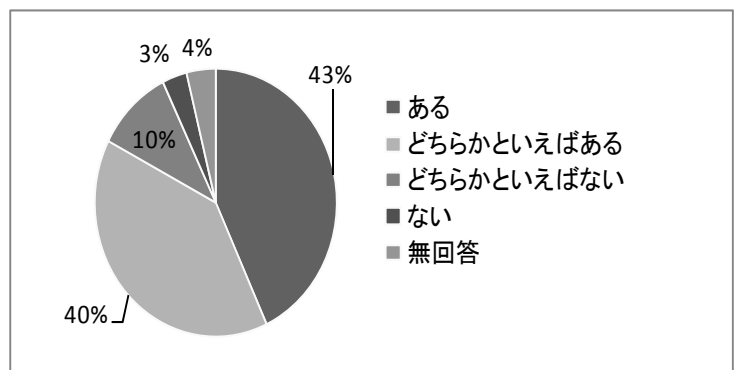
Q21:「食育」という言葉やその意味を知っていますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
言葉も意味も知っていた	692	68%
言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった	238	23%
言葉も意味も知らなかった	56	6%
無回答	32	3%
合計	1,018	100%



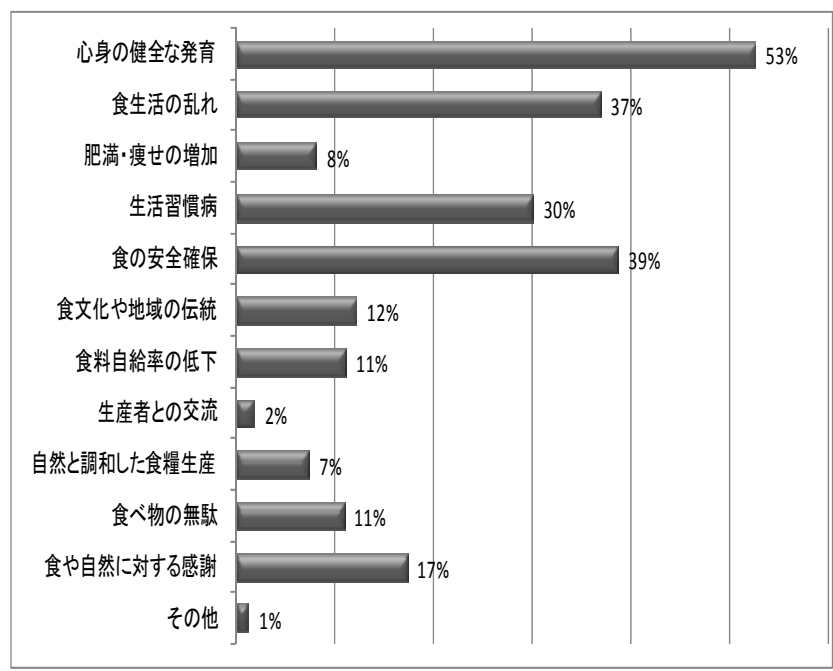
Q22:「食育」に関心がありますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
ある	431	43%
どちらかといえばある	395	40%
どちらかといえばない	102	10%
ない	33	3%
無回答	39	4%
合計	1,000	100%



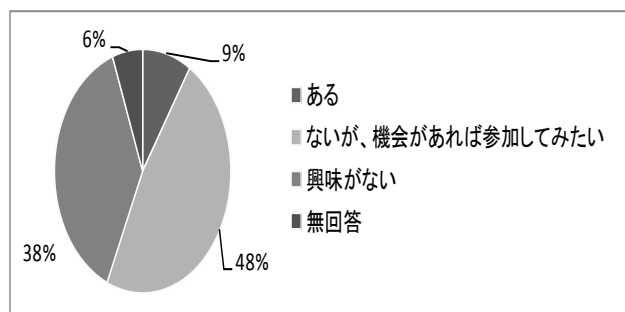
Q22-2:「食育」に関心がある理由は何ですか。【複数回答】

選択肢	割合
心身の健全な発育	53%
食生活の乱れ	37%
肥満・痩せの増加	8%
生活習慣病	30%
食の安全確保	39%
食文化や地域の伝統	12%
食料自給率の低下	11%
生産者との交流	2%
自然と調和した食糧生産	7%
食べ物の無駄	11%
食や自然に対する感謝	17%
その他(子供の成長 等)	1%



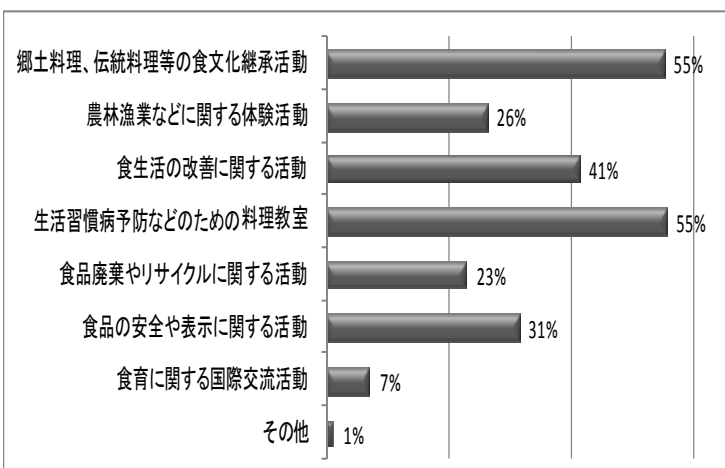
Q23：食育に関するボランティアに参加したことはありますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
ある	92	9%
ないが、機会があれば参加してみたい	485	48%
興味がない	384	38%
無回答	57	6%
合計	1,018	100%



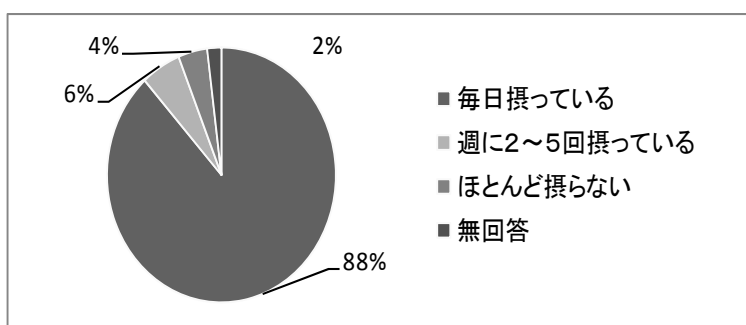
Q23-2：どのような食育活動に参加してみたいですか。【複数回答】

選択肢	割合
郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	55%
農林漁業などに関する体験活動	26%
食生活の改善に関する活動	41%
生活習慣病予防などのための料理教室	55%
食品廃棄やリサイクルに関する活動	23%
食品の安全や表示に関する活動	31%
食育に関する国際交流活動	7%
その他(子供の食育啓蒙活動 等)	1%



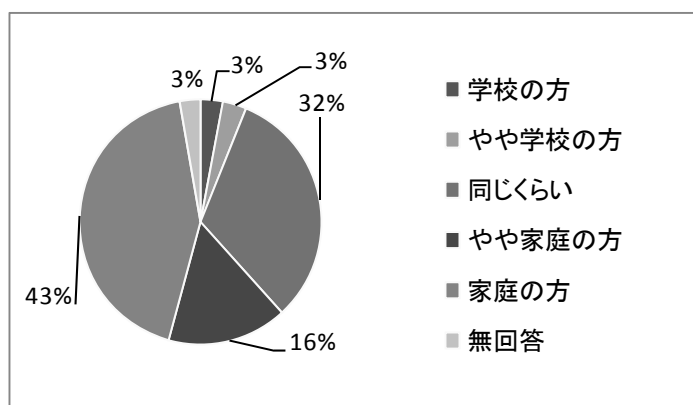
Q24：朝食をどの程度の頻度で摂っていますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
毎日摂っている	896	88%
週に2~5回摂っている	58	6%
ほとんど摂らない	44	4%
無回答	20	2%
合計	1,018	100%



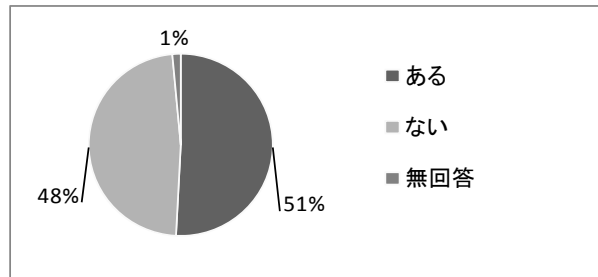
Q25：子どもたちへの食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
学校の方	30	3%
やや学校の方	32	3%
同じくらい	328	32%
やや家庭の方	162	16%
家庭の方	438	43%
無回答	28	3%
合計	1,018	100%



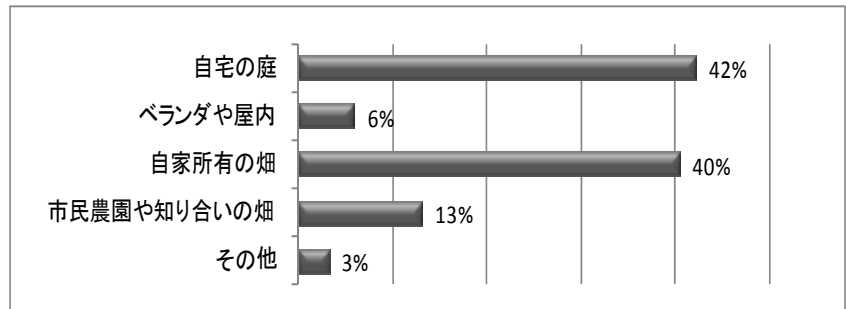
Q26：趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることがありますか。【単一回答】

選択肢	回答者数	割合
ある	517	51%
ない	485	48%
無回答	16	1%
合計	1,018	100%



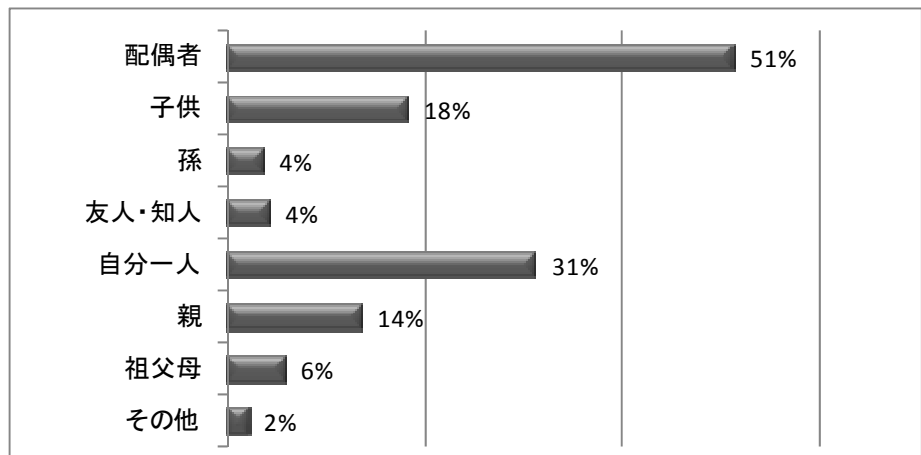
Q26-2：農作業の場所は主にどこで行っていますか。【複数回答】

選択肢	割合
自宅の庭	42%
ベランダや屋内	6%
自家所有の畑	40%
市民農園や知り合いの畑	13%
その他(プランター等)	3%



Q26-3：農作業は、誰と一緒にしていますか。【複数回答】

選択肢	割合
配偶者	51%
子供	18%
孫	4%
友人・知人	4%
自分一人	31%
親	14%
祖父母	6%
その他	2%



Q27：食育に関して市に期待する施策は何ですか。【複数回答】

選択肢	割合
食と健康に関する市民講座や教室を開催する	25%
学校給食で地元農林水産物の利用を促進する	56%
直売所など地元農林水産物を購入できる場所を整備する	45%
市民参加型の体験農園などを増やす	17%
学校・保育所及び幼稚園などでの作物栽培・料理の機会を増やす	34%
食品廃棄の削減や食品リサイクルに関する活動に取り組む	26%
郷土料理、伝統料理などの優れた食文化の継承に取り組む	30%
特にない	5%
その他(親子参加の市民講座の開催等)	2%

